



# TOPICS



広報係

笛吹市消防本部を会場として、山梨県消防救助技術大会が開催され、県下の10消防本部が日ごろ鍛えた高度な消防技術を競いました。

この大会の団体種目優勝組は、7月31日千葉市開催「消防救助技術関東地区指導会」へ、個人種目優勝者は、8月29日北九州市開催「全国消防救助技術大会」への出場となるため各消防本部は、上位を目指して熱い大会となりました。

## 第35回山梨県消防救助技術大会

実施日：平成20年6月25日(水) AM9:00~PM3:00

場 所：笛吹市石和町下平井204 笛吹市消防本部訓練場

主 催：山梨県消防長会

### 開会式



運営委員、出場隊員ほか、多数の関係者が見守るなか、富士五湖消防本部(城隊員)が力強い隊員宣誓を行い大会が開始されました。

## 訓練開始



### 引揚救助(団体) 出場6組

#### 結果

- 優勝:富士五湖 (84.1秒)
- 2位:峡北 (65.8秒)
- 3位:笛吹市 (131.6秒)
- \*\* :甲府地区 (83.7秒)



相川・中村・佐々木・宮崎・岡田隊員が出場しました。  
出場6組中1位のタイムでしたが、減点により順位なしとなりました。



### はしご登はん(個人) 出場12名

#### 結果

- 優勝:甲府地区 (14.2秒) 植村隊員
- 2位:富士五湖 (14.6秒)
- 3位:峡南 (15.2秒)
- 入賞:甲府地区 (16.1秒) 廣瀬隊員

植村・廣瀬隊員の2名が出場しました。  
昨年度の山梨県大会優勝タイムを0.1秒縮め全国大会への出場権を得ました。

### ロープ応用登はん(団体) 出場5組

#### 結果

- 優勝:富士五湖 (12.2秒)
- 2位:峡北 (13.5秒)
- 3位:笛吹市 (13.8秒)
- 入賞:甲府地区 (13.8秒)



中込・伊藤隊員が出場し、3位と同タイム、年齢上位のため入賞でした。  
いつもは11秒台が出ているだけに残念。 来年に期待！！



### ロープブリッジ渡過(個人) 出場13名

#### 結果

- 優勝:甲府地区 (17.3秒) 早川隊員
- 2位:大月 (17.5秒)
- 3位:甲府地区 (17.7秒) 田名網隊員



早川・田名網隊員の2名が出場し、1位と3位に入る好成績を収めました。  
早川隊員は、昨年度の優勝タイムを0.4秒縮め全国大会への出場権を得ました。

## ロープブリッジ救出 (団体) 出場9組

### 結果

優勝:甲府地区	(53.6秒)
2位:峡北	(58.1秒)
3位:東山梨	(73.9秒)
** :峡南	(53.6秒)

川田・秋山・石原・水上隊員が出場したこの種目は、2年ぶりに優勝し、関東地区指導会への出場資格を獲得しました。  
昨年優勝した峡南消防本部と同タイムのため、結果が発表されるまで、心配されました。



## ほふく救出(団体) 出場10組

### 結果

優勝:峡北	(42.0秒)
2位:東山梨	(45.6秒)
3位:都留市	(50.6秒)
** :甲府地区	(43.6秒)

兼松・宮川・丸茂隊員が出場するこの種目には、初の女性隊員(丸茂)の取材に新聞やテレビなど、報道関係者が開始前からスタンバイしていました。  
10組中3位のタイムで終わりましたが、惜しくも減点により、順位なしとなってしまいました。  
来年、さらに精度を上げて再挑戦!



## 障害突破(団体) 出場7組

### 結果

優勝:甲府地区	(105.8秒)
2位:笛吹市	(139.8秒)
※以下(5組)減点のため順位なし	



緑川・田中・宮川・大森・秋山隊員が出場した最終種目は、隊員の気合十分で開始され減点なしタイムも7組中トップで終え、隊員は胸を張り、この大会を締めくくりました。  
この種目での優勝は7年ぶりとなり、久々の関東地区指導会への出場となります。

## 訓練終了

### 結果

13年ぶりに4種目で優勝を納めました。

#### 消防救助技術関東地区指導会出場

- ・ロープブリッジ救出（川田・秋山・石原・水上隊員）
- ・障害突破（緑川・田中・宮川・大森・秋山隊員）

#### 全国消防救助技術大会出場

- ・はしご登はん（植村隊員）
- ・ロープブリッジ渡過（早川隊員）

以上、第35回山梨県大会でした。

#### 関東地区指導会とは？

##### 第37回消防救助技術関東地区指導会（千葉市）

関東近辺の10都県（群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、千葉県）のレスキュー隊員を中心とした消防職員が陸上の部4種目と水上の部7種目で高度な救助技術を競います。

#### 全国大会とは？

##### 第37回全国消防救助技術大会（北九州市）

この大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素を練磨することを通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一同に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国市民の消防に寄せる期待に、力強く応えることを目的としています。

また、全国大会を通じて広く全国の市民に、消防の技術の高さ、力強さ、優しさをアピールするとともに、常に市民の目線に立って大会内容を研究し、全国大会を未来志向の大会とすることを目標としています。



## 第37回全国消防救助技術大会in北九州

